

助産学校 合格おめでとう！

●2018年

上智大学・独協医科大学・首都大学・茨城県立医療大学・首都大学大学院・札幌市立大学

上智大学助産学専攻科 T・Kさん

私は小さい頃から助産師になりたいという思いが強くありました。在学中の大学の助産師選抜コースに落ち、他大学の助産専攻科の受験を決意しましたが、どのように勉強していけば合格できるのかわからず、インターネットで看創舎を見つけ、すぐに教室を訪れ、その日に入学しました。

私は4月から始まる助産コースを受講しようと考えていましたが、専攻科の入試は9月頃にあるため、2～8月に開講されている編入学コースを佐藤先生に勧めて頂き、受講していました。

看創舎に入る前は、看護学は殆ど丸暗記すればよいのだと考えていました。しかしながら、佐藤先生の授業は全て根拠に基づいており、ただ単語を暗記するのではなく、身体のメカニズムから考えながら覚えればよいのだということがわかりました。そのため身体や疾病、また法律などに関しても理解しながら覚えていくことができました。これは入試の応用問題に対応するためにも必須の力だと感じました。

英語は大学受験以来、手をつけてきませんでした。基礎から学ぶことができたため、短期間で長文を読む力を身につけられたと考えています。授業で習った医療分野で使われる英単語や言い回しはこれまで目にしたことのないものも多く、入試だけではなく今後にも役立つことのできる知識を身につけられたと感じています。小論文の授業は非常に面白く、毎回楽しみながら小論文を書く力を身につけていくことができました。自分の看護観や助産師になりたいという思いを文章化することで、改めて自分と向き合い、意思を強く持ち直すきっかけにもなったと感じています。

看創舎で授業を受けていなければ、勝ち取ることのできなかつた合格だと感じています。本当にありがとうございました。今後も看創舎で学んだ知識を活かして頑張ります。

獨協医科大学助産学専攻科 M・Mさん

合格発表当日、自分の番号があったときは涙が溢れ出ました。私は、助産師になりたくて看護の道に進みました。看護大学に入学しても、助産師課程への進学は狭き門だということは分かっていました。初めは独学で勉強していましたが、このままでいいのか不安になり、ネットで検索して看創舎を見つけました。先生の授業はとてわかりやすく、理解を深めていくことができました。看創舎の助力を得て、夢に近づくことができました。本当に、ありがとうございました。